

年末年始こそ小さな工夫でゴミ減量！

年末年始は、大掃除や買い物、帰省や来客などで、家庭から出るゴミが一年で特に増える時期。つい買い過ぎてしまう食材や作り過ぎた料理が食品ロスにつながったり、片付けたものの処分方法に迷ったりした経験はありませんか。こうした時期だからこそ、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を意識し、ゴミの減量や資源の適切な分別に取り組むことが大切。暮らしの中の小さな工夫をやってみましょう。

一人当たり年間約175kg排出
市内の家庭ごみ排出量（燃やして処理するごみ・燃やさないで処理するごみ）は近年減少傾向にあり、直近5年間では、年間約6198tから5540tまで減っています。市民一人当たりの家庭ごみ排出量は、1日約480g（令和6年度実績）。生ごみの水切りや食品ロス削減など、日常の小さな工夫でゴミを減らすことができます。

分別に迷ったら



ごみの分別に迷ったときは、各家庭に配布している「守ろうごみマナー」右図Ⅱや、市ホームページの「ごみ分別大辞典」（記事ID2975）、ごみ出しガイドアプリ「5374.jp」（記事ID3144）をご活用ください。一人一人の行動が環境に優しい社会につながります。

令和8年
4/1
スタート

小型充電式電池など

有害ごみ

として
収集します

市は令和8年4月から、小型充電式電池やモバイルバッテリーなどを「有害ごみ」として分別収集します。これらの電池は現在、リサイクル協力店に設置されたボックスに入れるか、販売店などで機器を処分する際に一緒に回収されています。4月以降は有害ごみと

して処理することになりますので、分別にご協力をお願いします。新たに対象になるもの…小型充電式電池、モバイルバッテリー、リチウムイオン電池
引き続き対象外のもの…自動車用バッテリーなどの鉛蓄電池

電池類はすべて絶縁する

必ずプラス(+)極とマイナス(-)極にセロハンテープなどを貼って、電気が流れないようにしてください。

有害ごみの出し方

ステップ1

透明か中身が見える半透明の袋に入れる
市の指定袋は使えません。

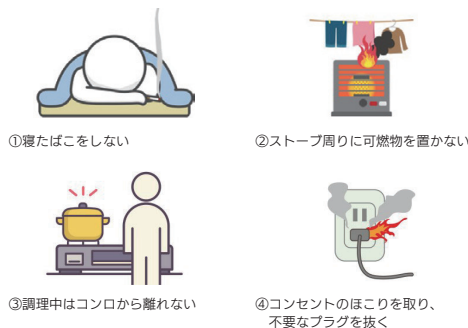
ステップ2

収集日に出す
月1回の「資源物及び有害ごみ」の収集日に、資源物と別にして出す。

小型充電式電池やリチウムイオン電池は、衝撃や変形で発熱・発火する恐れがあります。不適切に捨てると、ごみ集積場や収集車などの火災につながるため、正しい分別を徹底しましょう。

また、年末年始は暖房器具や火気の使用が増え、乾燥により火災が起こりやすい時期です。以下の4つを心掛け、火災ゼロを目指しましょう。

年末年始は火災にも注意！



家庭でできる食品ロス削減

国内では年間約464万tもの食品ロスが発生し、毎日大型トラック（10t）約1,270台分に相当する量が捨てられています。食材を無駄にしないよう、「使い切る・食べ切る」意識が重要です。



〈食品ロス削減のためのポイント〉

- ・買い物時に「買い過ぎない」
- ・料理を作る時に「作り過ぎない」
- ・外食時に「注文し過ぎない」

リデュース Reduce

ゴミを削減すること



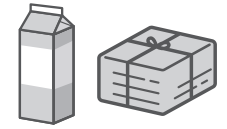
リユース Reuse

ものを再使用すること



リサイクル Recycle

再資源化すること



家庭でできること

- ①マイバッグやマイバスケケットを利用しレジ袋を断る。
- ②欲しい人に譲る（パズーやフリーマーケットなどを活用する）。
- ③詰め替え商品を買う。
- ①修理してもう一度使う。リフォームする。
- ②欲しい人に譲る（パズーやフリーマーケットなどを活用する）。
- ③再生紙使用マークの付いた商品やリサイクル商品を買う。

市の取り組み



市は、生ごみ処理機の購入費を補助しています



市クリーンセンターでは、椅子、テーブルなどの家具類を展示・販売しています



市は事業者と連携し、ペットボトルの水平リサイクル※の取り組みを進めています
※使用済みの製品を原料として、元の製品と同じ種類の製品に再び作り替えるリサイクル方法

民生児童委員146人決まる

任期満了に伴う民生児童委員と主任児童委員の改選が行われ、新任126人、再任20人の計146人が12月1日、新たに活動を開始しました。任期は令和10年11月末までの3年間で、委員と担当地域は次のとおりです（敬称略。連絡先など詳しくは、社会福祉課 ☎425500へ）。

【綾部東部】 野田町・並松町
 寺町東 石田正直▽寺町西
 石田由紀子▽上町・川糸町
 村上香里▽青野町（北）
 四方良晴▽青野町（南）
 本理佳▽青野町（東）
 久田理子▽幸通・本町七丁目
 石角明美▽本町八丁目・宮代町
 大槻直樹▽中神宮寺
 牧野美奈子▽西神宮寺
 原直子▽井倉町
 井倉新町・プレシアス・井倉新町団地
 大槻貴代▽明知
 白波瀬幾代
 【中筋】 岡町
 山口美世子▽延町
 泉久志▽鳥ヶ坪
 竹村恵子▽上延町（南）
 柳美和▽上延町（北）
 川原久美子▽大島町東
 渡邊寛二▽大島町中
 渡邊綾子▽大島町西
 大槻薫▽高津町（東）
 立川きく代▽高津町（西）
 雨林

寿美▽安場町
 梅原節子▽夕陽ヶ丘（西）
 衣川節子▽夕陽ヶ丘（東）
 小和田卓
 【吉美】 有岡町
 四方聡子▽里町
 四方より子▽多田町
 高倉町
 堀川美奈子▽小呂町
 星原町
 白木ちと世▽桜が丘一丁目
 三好博喜▽桜が丘二丁目
 新宮淳子
 【西八田】 上八田
 福井由美子▽七百石
 神田豊子▽中筋
 中瀬さとみ▽岡安
 塩尻智子▽洲垣
 齊藤浩子▽下八田
 古坂茂▽あやべ台
 渡邊由美
 【東八田】 中山・安国寺
 渡邊洋子▽新町
 中町・内容
 辻井三智子▽上町
 鐘鐺場
 大野
 中村紀美代▽高槻
 新川正道▽大石・愛宕
 鈴木徹▽延近
 門・久保
 相根ゆかり▽施福寺
 小嶋
 大塚ひろみ▽鳥居野
 野瀬
 柏原妙子▽見内
 下村
 吉崎恭一▽大又
 中川原▽吉田春子▽黒谷
 八代▽堀江廣明
 【山家】 戸奈瀬町・金輪町
 林秀行▽広瀬町
 白波瀬敏幸▽旭町
 橋上町
 大槻知弥▽東山町
 上柿浩▽鷹栖町
 岡副行雄▽西原町
 西村康彦▽

成▽坊口・仁和
 志賀清治▽西方
 白波瀬克利
 【中上林】 第一区
 波多野裕之▽浅原
 真野
 渡邊広恵▽小田
 引地
 温井しのぶ▽西屋
 神谷
 寺町
 藤原節子▽日置谷
 殿
 片山
 岸本幸宏▽石橋
 馬場
 西川清司▽山田
 竹原
 瀬尾谷
 岸本敏之▽大町
 弓削
 川北幸子▽遊里
 清水
 睦志
 波多野早百合▽辻
 水梨
 市之瀬
 市志
 阪田宗夫
 【奥上林】 長野
 志古田・山内
 岩崎和美▽鳥垣
 草壁
 古屋
 渡邊淑乃▽有安
 奥田洋▽川原
 小仲
 八代
 岩上文字▽古和木
 森藤誠▽光野
 澁谷ひとみ▽栃
 大唐内
 市茅野
 酒井正春
 【主任児童委員】
 足立征子、八木加奈子
 【中筋】 加藤彰子
 【吉美】 四方浩代
 【西八田】 十倉治美
 【東八田】 澤田まゆ子
 【山家】 上田裕文
 【口上林】 坂田鎮男
 【豊里】 塩見志保、谷口智
 【物部】 塩見ひとみ
 【中上林】 井関利津子
 【奥上林】 福井雅子



FMいかる

昭和100年!ラジオ放送100年!
 いかる27年ラジオ!

12月27日(土)午前9時～午後7時

今年では日本でラジオ放送が始まってから100年。FMいかるは開局して27年になります。さまざまな時代にタイムスリップしながら、この100年を振り返ります。



消防出初式

1月11日(日)午前9時～
 (パレードは午前10時30分ごろ～)

式典の後、青野町のあやべグンゼスクエア付近からパレードが出発。由良川花庭園で儀式放水を行います。

※詳細は本紙お知らせ版参照



元旦寺山山頂国旗掲揚式

1月1日(木・祝)午前7時～

上野町の藤山（寺山）山頂でボーイスカウト綾部第2団らが国旗と市旗、世界連邦旗を掲揚。市民憲章の唱和や「平和の鐘」の打ち初めなども行われます。



令和8年綾部市二十歳の集い

1月11日(日)午後1時～

市は里町の中丹文化会館で、綾部市二十歳の集いを開催します。ご家族も入場できます。

※詳細は本紙11月号お知らせ版参照

年末年始の催し

年末年始の主な催しと各施設の休館・休業日をお知らせします。

施設名	12月						1月					
	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水	1 木・祝	2 金	3 土	4 日	5 月
市役所	開		休	一部業務は8:30～17:00、日直が受け付け。水道は緊急時に対応								開
クリーンセンター	開	開	休	開	開	開	休	休	開	開	開	開
斎場		開					開	休	利用予約のみ 13:00～17:00受け付け	開		開
あやべ・日東精工アリーナ(市民センター)	開						休					開
あやっこひろば	開						休			開	休	開
図書館	開						休					開
天文館	開	26～28日は16:30まで					休			開	16:30まで	休
資料館	開						休					開
あいセンター	開						休					開
上林いきいきセンター	開						休					開
西部いきいきセンター	開						休					開
保健福祉センター	開		休				休			休		開
市立病院	開						休	救急のみ対応				開
あやべ健康プラザ	開	休		開	29日は17:00まで			休				開
観光案内所	開						開	待合室のみ				開
あやべ特産館							休					開
あやべ温泉	開						休			開	休	開

※1＝家庭用ごみの持ち込みのみ受け付け ※2＝バス待合室は使用可能 ※3＝施設の使用は可能

植芝盛平翁ゆかりの5自治体

相互交流と防災協力へ覚書締結

市は11月8日、東京都新宿区で合気道開祖・植芝盛平翁を縁とする相互交流等に関する覚書を締結しました。植芝翁が生誕を過ごした地の5自治体で、合気道を通じた交流の促進と災害時の応援・協力を約束しました。

新宿区が新たに参加

覚書を取り交わしたのは、和歌山県田辺市、北海道遠軽町、綾部市、東京都新宿区、茨城県笠間市です。新宿区を除く4市町は、平成20年に友好都市となつて以降、交流を継続。大規模災害時には、物資提供などを行う相互応援協定も結んでいます。今回の覚書の締結で、この輪に新たに新宿区が加

わりました。

締結式に出席した山崎市長は「植芝翁ゆかりの地のパズルのピースが埋まり完成形となった。持続的、発展的に交流が続くことを望む」とあいさつ。締結式に立会人として出席した植芝守央・合気道3代道主は「合気道が日本各地の自治体をつないだことは、誠に感慨深い」と祝辞を述べました。



覚書を締結した各自治体の首長ら。(左から) 近藤慶一・笠間市副市長、佐々木修一・遠軽町長、植芝充央・合気道本部道場長、植芝道主、真砂充敏・田辺市長、山崎市長、吉住健一・新宿区長



植芝盛平翁の足跡

(地名は現在)

- 明治16年 田辺市に生まれる
- 明治45年 開拓団長として遠軽町に入植
- 大正8年 故郷への帰途で綾部市に立ち寄り、大本の出口主仁三郎に出会う。翌年移住し、道場「植芝塾」を開設
- 昭和6年 新宿区に合気道の専門道場(現・合気道本部道場)を開設
- 昭和17年 正式に「合気道」と呼称。笠間市に移り、翌年「合気神社」を建立
- 昭和44年 永眠(享年86歳)

シリーズ 人権を考える

人権を考えるセミナー

10月17日に開催した第4回人権を考えるセミナーの内容をお知らせします。

「部落問題と向き合う私たち」

「結婚差別を乗り越えて」

石井眞澄さん

正しい学びが差別意識の解消へ

講師は、被差別部落出身者の女性との交際を、自身の親に反対された経験を持つ石井眞澄さん。部落差別にまつわる実体験を多くの人に伝えようと、被差別部落で育った妻の千晶さんと夫婦で講演活動をしています。

石井さんは「自分の親に差別主義的な考えがあったことに大きな悲しみを覚えた」と、交際を伝え



千晶さんの体調不良により、眞澄さん一人での講演となりました

た時のことを振り返ります。しかし「その後、両親は人権に関する研修会などに参加し、部落差別を勉強する中で考えを改めた。妻との結婚を報告したときは反対されなかった」と続けました。こうした体験を踏まえ「部落差別は、その歴史的背景などを知らない大人によって、今もなお残っている」と指摘。「当時、親が交際を反対したのは、我が子が周囲から差別を受けるのではないかという心配から生じた」とし「差別をなくすには部落問題について正しく学ぶ必要がある」と訴えました。差別の解消には、私たち一人一人の学びが欠かせません。偏見や差別の心がないか自分を見つめ直すとともに、自分自身ができることを考え、行動しましょう。

資料館だより

あのころにタイムスリップ

—本年度20歳を迎える皆さんの卒業当時を振り返ろう—

小・中学校の校舎の写真や使っていた机、教科書のほか、小学校6年生や中学校3年生当時に流行したものを展示します。

期間 令和8年1月9日(金)～28日(水)

※月曜日は休館

時間 午前9時～午後5時

場所 資料館(里町)

二十歳の集い当日限定企画 「みんなで思い出を残そう!」

1月11日(日)の二十歳の集い当日、館内に撮影スポットを設置します。記念写真で街パズルも作れます(先着100人限定)。この日だけの思い出を残しませんか。

<問い合わせ>

社会教育課 ☎(42)4328

資料館(土・日曜日の連絡先) ☎(43)1366

手話でつながろう

今月の手話

魚



右手を振り動かしながら左方へ進める。(魚が泳ぐ姿を表現)

協力:京都市聴覚障害者協会綾部支部

善聞語録

190



似て非なるもの

一見似てはいるが実は異なるものを「似て非なるもの」という。中国の思想家孟子の言葉に由来するが、平たく言うと紛らわしいもの、ともなうか。多々ある例で思い浮かぶままに列挙すると、チンパンジーとオランウータンは同じ類人猿だが生息地がアフリカとアジアで異なる。素麺と冷や麦は麺の太さ加減の違い、サッカーとフットサルはコートの広さやルールが異なり、ソーセージとウインナーは総称かその一種。ちよつと趣が違うが同じ「たまご」でも、卵は生物学的な表現として使われるのに対し、玉子は食材的な意味合いが強い。

もう少し踏み込むと、「自由」と「わがまま」の違い。自由は他者を尊重しつつ自分の意思で行動

することと責任を伴う一方、わがままは自分の欲求を優先して他人の気持ちを顧みない自己中心的な行動を指す。また「慎重」は軽率に行動しないことで思慮深さに基づくのに対し、「臆病」は恐れが根底にあるゆえの自信の無さや消極性につながるが多い。

政治の世界における首長と議員の役割も似て非なるものに挙げられよう。二元代表制の下、ともに住民による直接選挙で選ばれるのは同じながら、条例の制定・改廃や予算編成、人事を練り提案する立場と、出されたものを受け審議する側では大きく異なる。その権能の違いはひとえに、首長には結果責任が伴うことにあると思うが、それが為政者の運命というものである。国政においてもトップに就いた途端 議員時代の威勢をなくして失望を招き、退陣を余儀なくされる例が見られるところ。もとより両者の立場の違いに優劣はないものの、つまるところはそれぞれの本質を正しく見極めながら理解し、それぞれの立場を真摯に全うすることが肝要と心得る。

山崎善也(綾部市長)